

施策名：無人自動運転等の先進MaaS実装加速化推進事業

施策名：S I P自動運転（システムとサービスの拡張）

経済産業省自動車課ITS・自動走行推進室 03-3501-1618 itshann@meti.go.jp

国土交通省技術・環境政策課 03-5253-8592 takeuchi-k2qr@mlit.go.jp

内閣府科学技術・イノベーション推進事務局

戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）自動運転担当 03-6257-1314 sip-adus@cao.go.jp

国土交通省道路交通管理課ITS推進室 03-5253-8484 hqt-its2020-dk@gxb.mlit.go.jp

分野

交通分野での未来技術の活用

総合戦
略該当
箇所

横2-1-(2)-viii

予算額

令和3年度当初エネ特会計 5,722百万円の内数

令和3年度当初一般会計

（科学技術イノベーション創造推進費）

55,500百万円の内数

特徴・
ポイント

✓ 無人自動運転サービスの社会実装の推進。

事業
目的

- 令和3年度～令和7年度の5年間の事業を通じて、無人自動運転サービスを始めとする先進MaaSのビジネスモデルの確立を目指す。
- 自動運転による移動サービス等の事業化に向け、導入可能な地域として地方部を念頭におき、走行空間の確保、運行管理等の社会実装を行う上での課題を解決する。

事業
概要

- 遠隔監視のみの自動運転の実現など無人自動運転サービスの社会実装の推進。
- 自動運転サービス導入ガイドライン策定や自動運転による移動サービス等を継続的に運営可能なビジネスモデルの構築を行うことで社会実装を推進。

【無人自動運転等の先進MaaS実装加速化推進事業（経産省・国交省）】

<期待される効果>

- 遠隔監視技術により1名の監視者が3台以上の車両の運行管理を行う、歩行者・車両が混在する地域で道路上の情報等を活用し安全かつ円滑な自動運転を実現するといった無人自動運転サービス実証を行い、無人自動運転の運行形態や走行可能エリアの拡大を推進する。

<資金の流れ>



【S I P自動運転（システムとサービスの拡張）（内閣府）】

※地方部における自動運転サービスの社会実装の実現並びにその恒久的実施に係る調査研究等（国交省）

<期待される効果>

- 中山間地域での移手段確保等に資する自動運転サービスの課題解決に向け、自動運転サービスを継続的に運営可能とするビジネスモデルの構築やサービス導入に資する知見の整理や検証、調査研究等を実施することで、自動運転サービスの全国への横展開を推進する。

<資金の流れ>



※1 NEDO（国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構）

※2 一部、国から民間企業等への委託有

自動運転実証事例

【無人自動運転等の先進MaaS実装加速化推進事業（経産省・国交省）】

【SIP自動運転（システムとサービスの拡張）（内閣府）】

※地方部における自動運転サービスの社会実装の実現並びにその恒久的実施に係る調査研究等（国交省）

①ラストマイル自動走行実証



福井県永平寺町



沖縄県北谷町

遠隔型自動運転システムによる無人自動運転移動サービスの実現を目指し実証実験を実施

③道の駅等を拠点とした自動運転サービス



道の駅「かみこあに」（秋田県上小阿仁村）



令和元年11月の本格導入以来1年以上にわたる安全な運行管理、延べ5,000kmを超える安全な走行を継続中

②中型自動運転バス実証



中型自動運転バス



兵庫県三田市における実証実験

公共移動サービスの事業化を目指し、5つの地域（滋賀県大津市、兵庫県三田市、福岡県北九州市・苅田町、茨城県日立市、神奈川県横浜市）において、中型自動運転バスの実証実験を実施



道の駅「赤来高原」（島根県飯南町）



令和2年9月から10月にかけて、社会実装に向けた長期実証実験を実施。貨客混載の実証実験も併せて実施。